

共に、進む。

秋田県議会 議員 **宇佐見 康人** やすひと
令和元年度 県政報告



秋田県議会議員として活動をさせていただいてから1年が過ぎようとしています。この1年、皆様のご支援により活動をさせていただいていることに感謝申し上げます。

1年目を振り返りますと、【福祉環境委員会】に所属し、県民の皆様の生活に一番直結する分野を所管している議案や予算案の審査を担当してきました。また、【企業の振興と人材の確保に関する調査特別委員会】にも所属。本委員会は昨今全国的な課題となっている企業における人材の確保や若い世代の県外流出にどのような対策をしていくべきなのかをまとめ、議会として県に政策提言をするために設けられた特別委員会です。どちらの委員会も非常にやりがいがあり、日々勉強と成長をさせてもらっていることを自分でも実感できる濃い1年を過ごしました。また、6月議会で初めて一般質問に登壇してから、9月議会では初めて総括審査、その後は、11月に決算委員会での総括審査、12月には一般質問と総括審査、そして2月議会では総括審査と様々な場面で知事や教育長に対し直接考えを質問することができました。

市議会議員の時から「子どもに優しい街」にしていくという視点を常に持ち議会活動を続けてきましたが、その視点は県議会議員になった今でも変わりません。子どもに優しい街にしていくということは、ゆくゆくはその取り組みの成果が私たちや先輩たちの世代にも還元されるものだと思っています。人口減少、超少子高齢化社会に突入している秋田県において、持続可能な県政運営をしていくためには、子ども・子育て施策を更に充実させていかなければ次の世代に対して元気な秋田県を引き渡すことはできません。引き続き様々な議会活動での1丁目1番地の課題として様々な提言をしていこうと思っています。

さて、秋田県の大きな課題といえば「イージス・アショアの新

屋演習場への配備」です。県議会にも様々な陳情・請願が出されています。この1年間で、自民党会派からも「ゼロベースでの再検討を求める意見書」や「住宅地との距離と安全安心を考慮することを求める意見書」を提出し、議会として採択されました。個人的には、イージス・アショアそのものの配備は国防上必要であると考えていますが、住民の安全を考えた時、新屋演習場が最適地であると言われるれば必ずしもそうではないと考えています。しかしながら、国防は国専権事項であり、イージス・アショアの必要性を認めている以上、「新屋はダメだけど他のところだったらいいですよ」ということは県全体のことを考え、議会として軽々に判断するべきではないとも考えています。今後再調査の結果が議会に示されますが、その結果を議会でも会派でも多方面から検証し、しかるべきタイミングで意思表示をしていきますので、ご理解いただければ幸いです。

さらに、今年の1月からは新型コロナウイルス感染症の予防策や、それに伴う経済対策も大きな課題となっています。福祉環境委員会ではこれらの感染症予防対策を何度も議論してきました。県民市民の皆様の安全を確保すること、そして正確な情報を適切なタイミングで発信し安心してもらうことが重要です。また、一斉休校により子どもや保護者の心理的な負担も大きくなってきていますし、様々な活動の自粛に伴い経済的な負担も大きくなってきています。それらの対策を行っていくことは当然のことではありますが、リスクベネフィットや、一方のリスクを回避することで別のリスクが高まってしまいうりリスクトレードオフという考え方を、今回のことを教訓に平時から県民の皆様と共に考えていく機会を設けていかなければいけないと実感しています。

県議会議員1年目では非常に濃い1年を過ごしました。この経験を還元できるよう引き続き精進してまいります。



自民党防衛議連で海難救助隊の視察



調査特別委員会で県内企業の視察



福祉環境委員会
三重県立 子ども心身発達医療センターの視察



自民党会派青年局でGoogleの視察

令和元年度 一般質問・総括審査トピックス

県議会議員1年目となった令和元年度には、2度の一般質問と3度の総括審査の機会を得て、知事をはじめとする県組織の考えを質し、私の考えを提案してきました。取り上げた議題に共通することは、県民の皆様の安心と安全、特に、次の世代を担う子どもたちの安心と安全です。これからも、若い世代の一人として、次世代を見据えた課題に取り組んでまいります。



イージス・アショアの配備について

今後防衛省より調査結果が示されますが、新屋以外への配備であったとしても、市民、県民、国民の安全と安心を守るために具体的な対策を求めていくと同時に、国には我が国の防衛のあり方そのものを問うていくことが重要であると考えています。



子どもの貧困・虐待について

全国で社会問題となっていますが、秋田県内にも苦しんでいる子どもたちがいます。福祉環境委員会ではしつこいほどに議論を提起し、11月には虐待防止宣言も発表されました。全ての子どもが希望を持って成長できるように、今後も力を入れていきます。



港湾の振興について

6月の一般質問ではあきた港の整備や今後のスケジュール感などを問い、地元土崎の人たちにとっては観光や経済に寄与する夢のあるプランの進捗を後押しできたのではないかと考えています。今後も地元の人たちと共に、声を届けていきます。



重度身体障害児者の支援について

重度障害児者の支援のあり方について12月の総括審査で取り上げました。私が想像する以上に現場の人たちの負担感や保護者の方達の将来への不安が大きいことをこの年齢になって知りました。少しでも改善できるように引き続き取り上げていきます。



危機管理体制の見直しについて

新型コロナウイルスの対応で改めて危機管理体制の強化が必要であると実感し、2月の総括審査で取り上げました。全国的に自然災害が増加しており、本県もいつ大規模災害が起きるか分かりません。その時のために平時から教訓を生かし備えなければいけません。



ネット・ゲームとの付き合い方について

香川県議会で制定された規制条例を機に2月の総括審査で取り上げました。本県でも依存症対策を強化していますが、規制よりも上手な付き合い方を大人と一緒に考えていくとの方向性で進めていきたいと考えており、こうした取り組みを県民の皆様、そして全国に発信していきます。



新型コロナウイルス感染症について

学校休校や自粛要請など、暮らしに不便をおかけしていますが、この危機をみんなで乗り切っていかなければなりません。県では、対策本部を設置し、全庁を挙げて新型コロナウイルスから県民の皆様を守るための対策を国と連携して進めています。適時適切な情報提供はもとより、新型コロナ対策パーソナルサポート(LINE)などを行っていますので、ご確認、ご利用いただければ幸いです。(詳しくは右記「秋田県公式サイト」をご確認ください。[秋田県 コロナ対策 検索])



宇佐見 康人プロフィール

1984年4月2日生まれ。秋田市議会議員。市立土崎南小学校(剣道部主将)。市立將軍野中学校(野球部主将)。県立秋田西高等学校(野球部投手)。秋田経済法科大学(現ノースアジア大学)法学部。父親が経営する株式会社宇佐見経営に就職後、27歳で独立。起業家支援、地域活性化事業に携わる。夢を応援するためのプレゼン集団「秋田夢会議」の代表。

うさみ康人の出前をしております。

うさみ康人の議会活動とおして秋田をもっと元気にしていくために、あなたの秋田に対する思いや考えを是非お聞かせください。どんな小さな集まりでも、一人でもかまいません。「うさみ康人ってどんな人間なのか」ということでも、喜んで出前させていただきます。